

「市政 ここが聞きたい」

一般質問

一般質問とは
質問内容
発言時間

議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
質問と答弁を合わせて、一人 60 分です。



1	川原田 裕明 (緑橋自民)	○市立公民館について ▶ まちづくりについて
2	宮崎 健 (自民さが)	○第 54 回佐賀城下米の国まつりについて ▶ 市が管理する漁港の漂着ごみについて
3	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○空き家対策について ▶ 8月上旬の大雨による被害及び影響について
4	川崎 健二 (自民さが)	○少子化対策の推進について ▶ 人権・同和政策の見直しについて ▶ 踏切道における交通の安全について
5	川副 龍之介 (自民さが)	○防犯カメラについて ▶ 佐賀市の産業について学校での学びは
6	江頭 弘美 (自民さが)	○佐賀駐屯地との共存・共生に関する市の取組について
7	稲葉 嵩広 (自民さが)	○高齢者の住宅確保について ▶ 高齢者フレイル ^{※3} 予防の推進について
8	中島 妙子 (公明党)	○健康づくり施策について
9	中野 茂康 (緑橋自民)	○さが桜マラソンについて ▶ 農業振興について ▶ みどりのカーテンについて
10	黒田 利人 (緑橋自民)	○小・中学校体育館の空調整備について ▶ 市の森林事業の施策について
11	中村 宏志 (公明党)	○公共施設について

12	堤 正之 (自民政進会)	○地域公共交通ネットワークの整備について ▶ 佐賀唐津道路の整備促進について ▶ 2025佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて
13	西岡 真一 (自民清流)	○排水対策について ▶ 人口減少問題について
14	山下 明子 (市民共同)	○物価高のもと、市民生活を支えるために ▶ 訪問介護事業の持続のための支援を～住み慣れた地域で暮らせるまちづくりへ ▶ 佐賀駐屯地の自衛隊オスプレイ配備・運用について
15	江口 善己 (ネットワーク佐賀)	○佐賀市南部エリア開発構想について ▶ バルーンを生かしたまちづくりについて ▶ 食生活と健康について
16	永淵 史孝 (自民政進会)	○花火を市民はどこでやるのか ▶ 神野公園再整備について ▶ 佐賀市上下水道局のPR活動について
17	諸富 八千代 (自民政進会)	○小・中学校のプールについて ▶ 投票率向上のために ▶ 子育てしながら働きやすい環境づくりについて
18	福井 章司 (自民政進会)	○南部エリア開発構想について ▶ 災害時の避難所対策について
19	御厨 洋行 (自民清流)	○緊急銃猟制度と有害鳥獣駆除について
20	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○映画「ら・かんぱねら」を通じた佐賀の地域振興と文化発信について ▶ 小・中学校における熱中症対策について
21	重松 徹 (自民清流)	○東よか干潟ラムサール条約登録 10 周年及び「ひがさす」開館 5 周年事業について
22	松永 憲明 (ネットワーク佐賀)	○不登校対策について ▶ 武道館建設について ▶ 教員の働き方改革と教員不足解消を

番号は質問順、() 内は会派等、掲載は大項目のみです。○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

※3 フレイル……加齢にともなって筋力や心身の活力が低下し、病気やストレスに対する抵抗力が弱まり、要介護状態になるリスクが高まった状態。



公民館の運用変更は円滑に

(緑楠自民)
かわはら だ ひろあき
川原田 裕明

1



公民館はどう変わる

問 市立公民館の利用制限緩和に伴い、公民館支援課では公民館長や公民館職員にシステム改修、サークルの検討、貸館基準作りなど本来の公民館職員の業務と異なる仕事を与えている。これにより公民館職員は多忙になり現場は混乱しているが、どう考えているのか。

答 今回の運用変更は10年先、20年先を見据え多様な利活用を促進することで利用者を増やし地域に密着した活動へとつなげることが目的。この準備に関する事務など一時的な増加もあるが、新しい仕組みの下で公民館がいかに地域の拠点施設としての機能を高めていけるかが大事かつ重要である。このため職員研修を通じて人材育成や地域ニーズに柔軟に対応できる職員体制を確保することで、公民館職員が地域活動をしっかりとサポートできる環境を整えていきたい。



今後の栄の国まつりの日程は？

(自民さが)
みやざき たけし
宮崎 健

2



日程を変更し、大変なにぎわいをみせた今年の栄の国まつり

問 今年開かれた第54回佐賀城下栄の国まつりは、これまで十数年来質問をしてきたかいがあり、日程が8月から5月末に変更された。大変好評だったようだが、今回は試みということ、今後の日程は確定していないと聞いている。今回の日程で固定してはどうか。

答 今年は、初めて日程を変更して開催し、熱中症のリスクを減らすことができたと考えている。期間中は天候にも恵まれ、快適にまつりを楽しめたといった意見を多く頂いた。したがって、開催時期の変更については、おおむね肯定的に捉えている。一方で、初めての日程変更であったため、来年の日程を決めるに当たっては、まつりの参加団体などによる協議に加え、さまざまな団体の意見を聞きながら丁寧に検討し、さらに笑顔があふれるようなまつりにしていきたい。



危険な空き家の近隣不安解消を !!

(ネットワーク佐賀)
やまだ せいいちろう
山田 誠一郎

3



危険空き家は困るなあ

問 ①空き家の現状および対策は②空き家に危険があると通報を受けた場合の対応は③官有地の場合にも空家特措法に基づいて対応するのか④官有地に建っている空き家の近隣から通報や相談があった場合の対応は。

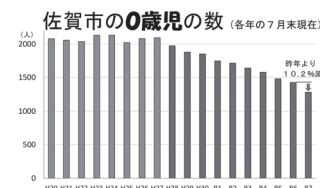
答 ①令和4年度で3221戸空き家があり、そのうち54戸が危険となる恐れがある。対策として、危険空き家の除却を進めつつ、空き家利活用の促進に取り組み、相談窓口も開設した②現地確認で危険と判断した場合、空家特措法に基づき所有者等に早急な対応を促す。改善がなければ指導、勧告を行う。著しく危険な場合は命令、代執行となる③空家特措法の対象外④現地に赴き状況確認を行い、その官有地を所管する担当部署へ情報等を提供し、早急な対応を依頼する。



急激に進む少子化！市の対応は？

(自民さが)
かわさき けんじ
川崎 健二

4



10年で4割も減少。少子化がさらに加速しています

問 ①市の少子化への認識は②昨年の8月以降どのような少子化対策を講じたか③市が実施したアンケートで結婚関連の結果は④出産や子育て関連の結果は⑤市長は今年3月の「まちトーク」で自身の思いを述べられたが、実際のどのような対応を進めているか。

答 ①結婚や出産に関する価値観の変化が要因と認識②アンケート調査を実施。結果を踏まえ、若者が安心して子育てできる環境整備の構築に取り組んでいる③未婚者の約7割が結婚を希望する一方、出会いの機会や仕事の多忙さが障壁となり結婚に至っていない④希望出生率が出生率を上回っており、経済的負担軽減に加え、家事・育児分担や仕事と子育ての両立しやすい労働環境を求める声が多い⑤アンケート結果を踏まえ、今年度プロジェクトチームを設立し、現在施策を検討中。



防犯カメラ設置で市民の安全確保を

(自民さが)
かわそえ りゅう の すけ
川副 龍之介

5



誰かがあなたを見守っている

問 地域における不審者対策や、子どもと高齢者の安全確保は大切なことである。①佐賀市内での防犯カメラの設置台数と設置場所は②民間が設置している防犯カメラの台数は把握しているのか③防犯カメラについての市の方針は。

答 ①佐賀市が設置する防犯カメラの台数は、施設内のみを撮影するものを除き354台。市営駐輪場、保育所、こども園、学校などの施設だけでなく、市有施設以外の人通りが多い場所にも設置している②把握していない③防犯カメラ設置は、犯罪抑止効果や犯罪が発生した場合の犯罪の認知、犯罪捜査や立証にも有効である。市が財政的支援をしている佐賀地区防犯協会との連携や、「みんなで防犯プロジェクト」の取り組みの推進により、防犯カメラの設置拡大に努めていきたい。



佐賀駐屯地、どのように向き合う？

(自民さが)
え がしら ひろ み
江頭 弘美

6



国防の最前線の役割の他に
地方創生を担う佐賀駐屯地

問 佐賀駐屯地が開設されて約2カ月がたつ。自衛隊のさまざまな活動は、住民一人一人、そして自治体の理解と協力があつて初めて可能となる。佐賀駐屯地との共存・共生のためには、地域との融和は必須である。共存・共生に向けてどのように対応していくのか。

答 佐賀駐屯地の開設は、地域における経済振興や交流促進の観点から大きな可能性を有している。既に、隊員が居住する地域では、イベントへの参加を通じて隊員が地域住民との交流を深めており、地域コミュニティとの関係性が次第につくられていくことが期待できる。また、自衛隊駐屯地が設置されている他の自治体では、隊員と自治体が協力して、地域防災力の向上に取り組んでいる事例もある。引き続き、地域社会との調和を念頭に、一つ一つ丁寧な対応を求めていきたい。



住宅困窮高齢者の住宅確保を！

(自民さが)
いな ば たかひろ
稲葉 高広

7



セーフティネット住宅
情報提供システム

住宅困窮者にきめ細やかな
セーフティーネットを

問 近年、独居の高齢者が民間の賃貸住宅を借りづらくなっている。①市ではどのように対応しているのか②困り事を抱えている、どこに相談していいかわからない方への対応は③全庁的にみんなが相談員である意識を持つべきでは。

答 ①民間の賃貸住宅への入居が困難な場合は、住宅確保要配慮者居住支援法人を紹介している。また、身体機能の低下等により生活に不安がある高齢者向けにシルバーハウジングを設置している②市内に15カ所あるおたっしや本舗で高齢者のさまざまな相談を受け、関係部署等とも連携しながら対応している③相談窓口としては他に福祉まるごと相談窓口があり、地域で活動するコミュニティソーシャルワーカーと連携しており、地域の民生委員とも連携しながら取り組んでいきたい。



定期的ながん検診を受けましょう！

(公明党)
なかしま たえ こ
中島 妙子

8



がん予防啓発の出前講座が
川副中学校で開催されました

問 ①県内他市町と比較したががん検診受診の状況は②市民の利便性向上のため、検診の予約がインターネット等でできないか③中学校でのがん予防啓発の出前講座を受けた生徒の感想は④今後の展開は⑤今回の出前講座を含めたがん教育に対する教育委員会の見解は。

答 ①令和5年度は20市町中、胃がん健診18位、肺がん健診14位、大腸がん健診11位、乳がん健診17位②ウェブ予約はどのような方法なら可能なのか健診委託機関にも相談して検討したい③生活習慣を見直したい、大人になれば健診を受けたい、子宮頸がん予防を家族に相談してみたい等多くの感想が寄せられた④来年度も全中学校に出前講座を案内し、学校からの依頼はできるだけ対応したい⑤今後も出前講座や県の事業等を活用して学校の実情に応じたがん教育を一層推進したい。

※5 みんなで防犯プロジェクト……一般社団法人日本セキュリティ振興協会が主導する地域住民と行政、企業が連携して防犯カメラの設置を進めることで、地域全体の安全安心なまちづくりを推進するプロジェクト。
※6 シルバーハウジング……バリアフリー化、緊急通報装置や見守りセンサーなどがつき、生活援助員から生活支援サービスを受けられる、ハード・ソフトの両面から高齢者の自立した生活を支える公的な賃貸住宅。



さが桜マラソン、好感度日本一を

(緑楠自民)
なかの しげやす
中野 茂康

9



完走をめざして

問 さが桜マラソンは、フルマラソンコースの高低差が少なく走りやすい、当日受付がなくスタートまでの時間に余裕がある、給水や地元の名産品が豊富、沿道の応援が多い等が評価されている。好感度日本一の大会となることを願っているが、今後の取り組みは。

答 これまでの評価をさらに高める取り組みとして、2026大会では、ランナーの要望に応じて吉野ヶ里歴史公園内のコースを延長、コース前半に給食ポイントを設置おもてなしブースの位置をゴール後のランナーの利便性や楽しみに配慮して変更、インバウンド枠を確保することなどを予定している。安全安心に大会を開催することを念頭に、さまざまな意見を取り入れながら、ランナーが気持ちよく走ることができる環境づくりや佐賀ならではの演出を行いたい。



小・中学校に空調設備の整備を

(緑楠自民)
くろだ としと
黒田 利人

10



学校の体育館は、暑い！

問 近年の気候を踏まえて、他自治体では児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善および避難施設の機能向上を目的に、小・中学校体育館に空調設備が設置されつつある。市内の小・中学校体育館に空調設備の整備を行う必要性を強く思う。市の考えを問う。

答 近年は猛暑日が増加しており、学校現場における熱中症対策は喫緊の課題であると考えている。学校体育館等への空調設備整備を促進するために、文部科学省で令和6年度から令和15年度までを対象期間とした空調設備整備臨時特例交付金を創設されている。現在、空調設備設置に係る先進地の視察などを実施しており、他自治体の導入方式やその効果等について調査、研究を行っている。関係部局との連携を図りながら、引き続き検討していきたい。



脱炭素化・緑を活用した公共施設を

(公明党)
なかむら ひろし
中村 宏志

11



久保泉工業団地内のしずか池公園

問 ①市役所本庁舎・支所でゼロカーボンシティに向けた今後の取り組みは②CO₂を食べる自動販売機の設置は③ゼロカーボンシティに向けて市内の公園の緑は増やせるのか④EV充電スタンドや木陰を意識した遊歩道などの公園整備と緑地・樹林地の活用を!!

答 ①設備の更新等の際にゼロカーボンシティがしの構想を意識して取り組みたい。また施設の集約や減築等も検討する必要があると考えている②現在本庁舎に4台、各支所に合計で12台を設置しており、今後も自動販売機入れ替えの際は選択肢の一つとして関係課と協議していきたい③既存の公園において緑の適切な維持管理と植栽の配置を工夫すること、緑豊かな環境づくりに取り組みたい④利用者のニーズや費用対効果などを踏まえ、公園樹林地の効果的な活用方法を考えたい。



公共交通ネットワークの整備を！

(自民政連会)
つづみ まさゆき
堤 正之

12



富士町コミュニティバス

問 高齢化社会を反映して公共交通ネットワークの整備が急がれる。①市営バスの機能充実は図られているか②既存のコミュニティバス等も運用面での改善は図られているか③市街地でも公共交通機関の空白地が出ている。佐賀版コミュニティバスを試行すべきでは。

答 ①市民生活を支えるインフラにとどまらず、まちづくり等においても市営バスへの期待は高まっている。市営バスが将来にわたり持続的に発展していくよう、今後とも必要な支援を行っていく②既存のコミュニティバスなどは持続性が共通の課題であり、運行の効率化や採算性の向上、さらに交通モードの転換について、さまざまな検討を進めている③それぞれの地域における適切な交通を考えるに当たって、持続可能なものとなるよう、選択肢の一つとして引き続き検討していく。



池上地区の排水対策を後押しせよ

(自民清流)
にしおか しんいち
西岡 真一

13



塩土井排水機場
(大和町池上地区)

問 大和町池上地区は、排水対策後もシミュレーションでは20センチ以上の想定浸水面積が広範囲に残る。浸水が起きた場合、塩土井排水機場の役割が重要になる。これは県の施設ではあるが浸水は市民の問題である。市からも施設の増強等に対し後押しはできないか。

答 池上地区の排水機能のさらなる向上を図るためには、施設の機能強化が重要であると認識しており、今後シミュレーションなどの検証結果を踏まえ、県に対してその必要性を要望していく。また、隣接する嘉瀬川においては、国が嘉瀬川水系の治水安全度向上に向けて、気候変動の影響も考慮した河川整備計画変更の検討を進められており、本市としては、改めて関係者が連携した浸水対策を視野に、国に対しても働きかけを行っていききたい。



物価高から市民生活を守る施策を！

(市民共同)
やました あきこ
山下 明子

14



物価高で市民の暮らしは大変！

問 ①生活保護費引き下げを違法とする最高裁判決の受け止めは②生活保護基準に関連する他施策への影響は③物価高に苦しむ市民全体に波及する施策を④最低賃金の引き上げは勤労者の願いだが、高崎市のように中小零細事業者の賃上げを直接支援する施策を。

答 ①現在、同種の裁判で県とともに係争中。国の対応方針が示された際には速やかに対応できるように備えたい②就学援助制度などいくつかの関連事業を確認したところ影響はなかった③低所得世帯に限らず、支援が必要な方々に効果的に支援が届くよう、地域の実情に即した施策を実施していきたい④国や県の支援事業の利用を促進するとともに、中小企業の稼ぐ力や経営力を高める施策を推進し、賃上げにも対応できるように企業の体力を醸成していきたい。



佐賀南部エリア開発構想を考察する

(ネットワーク佐賀)
えぐち よしみ
江口 善己

15



開発構想は策定された！
今後の具現化を強く望む！

問 南部エリアは佐賀空港の滑走路延長や有明海沿岸道路の延伸で発展が期待される。①構想の目的と概要は②南部物流拠点構想から南部エリア開発構想への変更理由は③5000社におよぶ民間企業へのアンケートの結果は④本構想にかける市長の熱い思いや感想は。

答 ①市域全体への経済波及の拡大が目的。持続的に発展する地域拠点として産業拠点などを位置づけ、構想推進による5つの効果をまとめた②物流業を含む産業全体の振興が地域の発展に重要だと整理したため③建設コスト上昇の中でも、設備投資意欲が高い企業が一定程度ある。立地候補の選定で、道路インフラと併せ、人材確保や用地の価格が重要視され、幅広い業種が興味を示している④地域資源も生かし、希望ある未来を考え、南部地域、市域全体に新しい価値を生み出したい。



手持ち花火の実証実験、その結果とは

(自民政進会)
ながふち ふみたか
永瀬 史孝

16



手持ち花火を当市の夏の風物詩に

問 市は手持ち花火の社会実験を2年行っているが①どのくらいの市民の方が実証実験に参加されたのか②今回の結果を市としてどのように解釈されているのか③実証実験を終えて、今後の市の対応について問う。

答 ①令和6年度は、巨勢公園と多布施川河畔公園で6日間、市役所前公園で1日実施し、合計113組500人、令和7年度は、巨勢公園、高木瀬ふれあい公園で4日間、市役所前公園で3日間実施し、合計137組594人が参加した②実施に当たり大きな問題はなく、市民の間で公園での花火に対するニーズが高いと認識③来年度以降はさらにその結果を基に制度やルールを検討していきたい。



小・中学校プール施設の見直しが必要

(自民政進会)
もろどみ や ちよ
諸富 八千代

17



老朽化しているプール施設
全国的に民間委託が進む

問 今年の猛暑で水泳の授業の中止が増えたと聞く。①実施状況は②過去5年にプールを改修した学校と金額は③改修の内容は④応急処置にとどまり、将来的に大規模改修が必要になる可能性がある。民間委託とのコスト比較を早急かつ具体的に進めるべきでは。

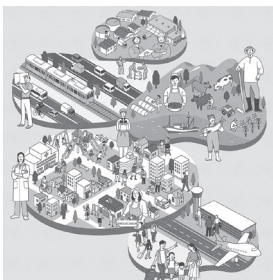
答 ①今年度は53校中24校で中止があったが、授業時数としては計画の約96%が実施された②令和2年度は中川副小約620万円、令和3年度は西川副小約1790万円、令和4年度は高木瀬小約1260万円、令和5年度は勸興小約1350万円と金立小約1110万円、令和6年度は新栄小約1340万円③プール槽の水を抜いて調査し、適正な改修を行っている④現在、民間施設で受け入れが可能かなどを調査している。引き続き今後のプールの在り方について検討していく。



活気ある南部エリア開発を目指せ!!

(自民政進会)
ふくい しょうじ
福井 章司

18



南部エリアの開発には大きな可能性がある!!

問 ①南部エリア開発構想のPR強化は②半導体関連企業の誘致は③軟弱地盤などにどう対応するか④農協、漁協等各種団体への構想説明を急げ⑤県が国に対して行っている「防災庁」の誘致をどう考えるか⑥今後の事業の展望を示せ。

答 ①構想の具体化の中で、機会を捉えて情報メディアの活用を含め周知を図りたい②北部九州の半導体関連企業の動向を踏まえ、進出の可能性を幅広く探りたい③地質調査等の結果を基に適切に判断したい④これまでも行ってきたが、引き続きそういう機会をつくっていききたい⑤災害時に貢献できる拠点を方向性の一つとしており、県と情報共有・連携を図りたい⑥産業拠点を第一段階とし、交通インフラ整備の進捗に合わせ、物や人の交流拠点と民間投資促進ゾーンの形成を進めたい。



緊急銃猟対応を急げ!

(自民政流)
みくりや ひろゆき
御厨 洋行

19



イノシシ対策=命の防衛線。
現場はすでに始まっている!

問 人命を脅かす熊・イノシシ等の危険鳥獣に対応するため、9月1日に緊急銃猟制度が施行された。①その実効性を高めるため、ハンターの育成・強化等について、どのような取り組みを行うのか②平時においても、公道からの銃器使用を認めるべきではないか。

答 ①狩猟登録者を増やす取り組みとして、県と連携しながら、銃の所持許可を受ける際の教習射撃や許可更新時の技能講習費用に対する助成等の対策を講じていきたい。緊急銃猟実施者の登録者には、定期的な技能講習会等の実施により、技能レベルの把握・向上を図り、安全かつ的確な駆除活動が行えるよう支援したい②佐賀北部地域有害鳥獣広域駆除対策協議会において、現在、九州各県や県内各市町等の状況調査や警察との意見交換等を行いながら協議をしている。



映画を通じた地域振興と文化発信を

(ネットワーク佐賀)
ふじた よしのり
藤田 佳典

20



映画「ら・かんぱねら」
東よか干潟での撮影の一幕

問 ①観光ルートの整備や看板設置、巡礼マップ、冊子等の作成は②観光面で地域団体や企業等との連携は③映画にちなんだ商品開発や飲食・宿泊業とのタイアップは④子どもたちも含め、地域の教育に生かせないか⑤映画を契機とした今後の文化振興の取り組みは。

答 ①映画に関する周遊モデルコースの紹介や観光周遊タクシーでのロケ地巡りの提案等さまざまな工夫をしたい②公開前にJR唐津線の企画列車で映画公開のPRを行った。映画を支援する会の後継団体と観光面等で盛り上げる取り組みを一緒に考えたい③地場産品を活用した新たな商品開発やキャンペーンの開催等さらなる地域経済の発展につなげたい④PTA活動等で映画上映の希望があれば学校ごとに検討する⑤誰もが文化芸術にチャレンジできる機会や場所を提供する。

※8 緊急銃猟制度…人の日常生活圏に熊・イノシシが出没した際、安全確保等の条件の下で、市町村が委託等し者による銃猟を可能とする制度。



東与賀海岸での漂着ごみ拾い大会

(自民清流)
しげまつ 重松 とおる 徹



21



海岸清掃の状況
(写真はイメージ)

問 東よか干潟の自然環境を子どもたちの未来へつないでいくためにも、干潟の保全活動が重要だと考える。干潟の保全活動につながるため、また干潟を知るきっかけづくりとして、チーム対抗で漂着ごみを回収する「漂着ごみ拾い大会」を開催してはどうか。

答 東よか干潟には、河川を通して流れ着いたプラスチックごみなどが、大雨の際に多く漂着する。多様な生き物が生息し、世界に認められたすばらしい東よか干潟を未来へ引き継ぐために、清掃活動は大切だと考えている。また、地域などの呼びかけで清掃活動を行っていただいており、深く感謝している。「漂着ごみ拾い大会」は、市民の皆さまに漂着ごみの現状を知っていただくことができ、干潟保全につながる取り組みと思うので、今後、開催について検討していきたい。



不登校対策の充実・強化を！

(ネットワーク佐賀)
まつなが 松永 けんめい 憲明



22



学校…？
気が重たいなあ…

問 不登校児童・生徒の数が年々増加しているが①不登校者数の実態は②取り組みと課題は③不登校の子どもが落ち着ける場所として教育支援センター「くすの美」があるが、市に一カ所だけでは対応が厳しいのでは。北部地域にも設置すべきではないか。

答 ①令和6年度調査では小学生177人、中学生282人②不登校支援に関わるさまざまな立場の職員を配置し取り組みを行ってきたが、不登校になる前のサポートや緩やかな学校復帰のための居場所づくりが必要な学校が増えている。また、一人一人に対応する時間が十分に確保しづらくなってきた。支援体制の強化は喫緊の課題である③児童・生徒が自分で通える場所での支援センターの設置が効果的な支援につながると考える。校内教育支援センターの設置の拡充を進めたい。

特別委員会最終報告

佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

令和4年11月、佐賀県有明海漁業協同組合は空港建設時に佐賀県と結んだ自衛隊との空港共用を否定した公害防止協定書覚書付属資料の変更に応じた。

これに伴い市民の安全・安心な暮らし、騒音などの環境問題、そして地域経済への影響など、多岐にわたる課題が想定されることから、令和5年1月23日に本委員会を設置し、26回の委員会を開催し、調査を重ねてきた。

その結果として、次の3点を特記すべき事項としてまとめる。

自衛隊機の安全対策について

市民の安全を最優先とする観点から以下の事項について、市は防衛省に対しその徹底を求めていく必要がある。

①事故が発生した場合の対応について

事故が発生した場合、事故の状況、原因究明の進捗、再発防止策に至るまで、速やかに、かつ正確な情報を市民に公開すること。また、情報公開に当たっては、

市民が理解しやすい形で説明すること。

②訓練に係る情報提供について

佐賀駐屯地において夜間訓練等が実施される場合は、市民の生活環境への影響が大きいと想定されることから、事前に市民に対し情報提供を行う体制を構築すること。また、訓練に際し、オスプレイの安全な運用を徹底するとともに、市民生活等への影響に十分配慮するよう努めること。

周辺環境への対策について

本委員会は自衛隊の佐賀空港利用による空港運営の変更に伴う協議に関する調査の中で、排水対策、騒音対策、粉じん対策、水産業対策、農業対策、自然環境対策および相談体制の整備について、必要対策が取られることを確認した。

今後実際の運用に当たり、これらの対策が有効に機能することを確認していく必要がある。

民生安定施設への助成、地域振興策について

防衛省の助成制度は、地域住民が利用する集会施設やスポーツ施設の設置な